



5月8日に来庁した皆さん。杉岡村長が「村を感じ、楽しみながら、実習に取り組んでほしい」と歓迎。

相馬看護専門学校が村で実習 地域に寄り添う看護を学ぶ

5月8日・12日・14日の3日間、相馬看護専門学校の学生が、村内で実習を行いました。

同校は、飯館村と相馬市・南相馬市・新地町の2市1町1村で構成する「相馬地方広域市町村圏組合」が設立した公立の看護師養成校で、村内での実習は令和5年度から実施されています。

初日の8日には、実習生の皆さんが杉岡村長と懇談。代表学生が「地域の生活課題に向き合い、他職種との連携について学びたい。また、相手の立場に立って実習に取り組みたい」と抱負を述べました。



締結式の会場で、署名を終えた協定書を手に。左から菅野会長、杉岡村長、加藤統括部長。

東急不動産株式会社と 地域連携協定を締結

飯館村、東急不動産株式会社、飯館村総合振興計画推進協議会の3者が、村役場にて5月12日、地域連携協定を締結しました。この協定に基づき、3者は相互の特性を活かし、ゼロカーボン事業、地域産業の振興、観光の振興、人材育成などで連携します。

締結式には、杉岡村長、東急不動産株式会社環境エネルギー事業本部環境エネルギー事業第二部の加藤佳郎統括部長、飯館村総合振興計画推進協議会の菅野宗夫会長(佐須)が出席しました。

固定資産評価審査委員 新委員に辞令を交付

5月11日、村役場で、固定資産評価審査委員の辞令交付式を行いました。

式では、杉岡村長が、須田幸正さん(小宮)、鹿山あや子さん(深谷)に、固定資産評価審査委員の辞令を交付。新委員のお二人が、「固定資産の評価について学びながら、少しでも役に立てるよう取り組んでいきたい」などと意気込みを述べました。

今後は、現委員の林英滋さん(白石)を含む3人の委員が、固定資産評価に対する申し立てについて、中立的な立場から審査を行います。



新たに固定資産評価審査委員の辞令を受けた須田さん(左)と鹿山さん(右)。どうぞよろしくお願ひします。

いいたてスポーツ公園で 『からだ作り教室』を開催!

4月25日に、いいたてスポーツ公園で開催した『からだ作り教室』。佐藤こゆる先生(南相馬市)を講師に、9人の参加者が、バランスボールを使った運動を体験しました。

青空が広がり、風も穏やか。爽やかな天候に恵まれました。佐藤先生の話術でテンポよく、音楽に合わせたリズムカルな運動を、皆さんが笑顔で楽しみました。「体の調子よくなりました」「定期的に教室を開催してほしい」といううれしい感想も。第2回は7月4日に開催予定。皆さんもぜひご参加ください。



青空の下、人工芝が広がる「にここ広場」で心地よく運動!

『春日部藤まつり』に出展 笑顔の交流で村をPR

4月26日、埼玉県春日部市の『第45回春日部藤まつり』に出展しました。村は、春日部市と40年程前から交流があり、震災の折には、たくさんのご支援をいただきました。ブース出展には、ニコニコ菅野農園(宮内)、村カフェ753(深谷)、飯館村商工会も参加。村出身で春日部市職員の佐藤修さん、震災時に派遣職員として村に在籍した鹿沼市職員の橋本浩一さんも、応援に駆け付けてくださいました。物販の他、観光パンフレットなどを活用して来場した皆さんと交流し、村をPRしました。



約1.1km続く藤棚が美しい花のトンネルに。会場の「ふじ通り」には、たくさんの方が訪れました。

『結・ゆい・フェスタ2026』 国際交流の催しに出展

5月3日、福島市の「まちなか広場」で開催された『結・ゆい・フェスタ2026』に出展しました。

このイベントは、国際交流と多文化共生がテーマ。世界各国の文化体験ができる催しで、福島市国際交流協会の主催です。

村は、国際色豊かな会場で、朝採れの野菜や花、あぶくまもちの甘酒などを販売。資料を配布し、村の魅力もPRしました。また、村を拠点に活動する「福島もも娘」も、村のブースに駆け付け、来場者と交流しました。



甘酒の試飲も大好評。「飯館村の皆さんですか。こんなに頑張っているんですね」と声をかけてくださる方も。